令和３年度　NO. ４

コミュニティ・スクールだより

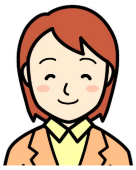
学校・家庭・地域の連携と保幼小中一貫教育

Ｒ３.１２．２１　　（事務局：国見町教育委員会学校教育課 ☎585-2892）

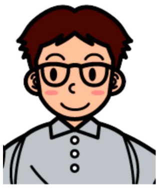
第４回ＣＳ委員会＆地域学校協働本部推進委員会は
１１月１１日（木）、くにみ幼稚園を会場に開催しました

幼稚園の施設や園児の様子を見るとともに、会議では「あいさつ運動の推進」、幼児期から「家読」の推進について、協議がなされました。

くにみ幼稚園を参観した声から



外で走り回ったり、鉄棒やブランコで楽しそうに遊んだりしていますね。元気でとてもいいですね。



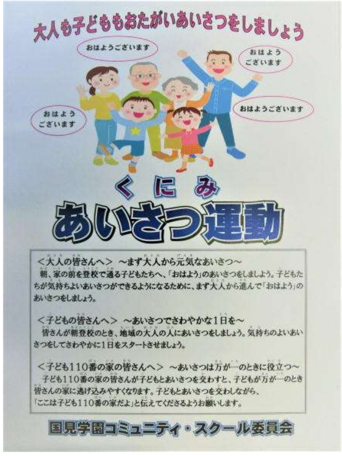
ハイタッチしてあいさつしてくれた。うれしいなあ。
みんなくつをきれいにそろえている。すばらしい。

広い園内で園児はのびのびと活動している。とてもよい環境の中で保育をされているなあ。

＜園児の活動の様子を参観するＣＳ委員＞

あいさつ運動の推進

　あいさつが飛び交う町は、人間関係が豊かになり、子どもたちが地域とそこに住む人々に深い愛情をもつようになります。
　さらに、地域で交わされるあいさつが犯罪者を地域に寄せ付けないバリアとなるため、安全で住みよい地域社会づくりにつながります。
　今回のＣＳ委員会では、あいさつ運動に力を入れて取り組むことが確認されました。３学期に右のあいさつ運動のリーフレットを、幼稚園児、小学生、中学生、保護者、国見町全戸、子ども１１０番の家に配布します。子どもも大人もお互いにあいさつをしましょう。そして国見町をあいさつが飛び交うすてきな町にしましょう。



大人も子どももおたがいあいさつをしましょう

くにみ
あいさつ運動

＜大人の皆さんへ＞　～まず大人から元気なあいさつ～
朝、家の前を登校で通る子どもたちへ、「おはよう」のあいさつをしましょう。子どもたちが気持ちよいあいさつができるようになるために、まず大人から進んで「おはよう」のあいさつをしましょう。

＜子どもの皆さんへ＞　～あいさつでさわやかな１日を～
皆さんが朝登校のとき、地域の大人の人にあいさつをしましょう。気持ちのよいあいさつをしてさわやかに１日をスタートさせましょう。

＜子ども１１０番の家の皆さんへ＞　～あいさつは万が一のときに役立つ～
子ども１１０番の家の皆さんが子どもとあいさつを交わすと、子どもが万が一のとき皆さんの家に逃げ込みやすくなります。子どもとあいさつを交わしながら、「ここは子ども１１０番の家だよ」と伝えてくださるようお願いします。

国見学園コミュニティ・スクール委員会

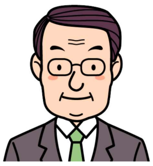
親子で家読、豊かな時間の共有を！

今回は、幼児期からの家読の推進をテーマにした話し合いもしました。

幼児期に本のよさを感じる経験をすれば、大人になっても読書を続ける。幼稚園、小学校低学年の時期はとても大切であり、親は子と一緒に家読をしてほしい。

＜読書について話し合うＣＳ委員＞

親と子が時間を共有して本を読んだり、本を話題にした話をしたりするといい。親子とも忙しい場合もあるが、工夫して時間をつくり、家族で家読をしよう。



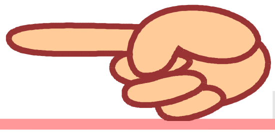
＜指導助言：宮城教育大学　野澤令照先生＞
親が子どもの目を見ながら読み聞かせをすると、本のよさや楽しさをしっかりと植え付けられる。親子の愛着形成にもとても効果がある。

リーフレット「家読のススメ～家読で深まる家族の絆～」

地域学校協働本部では、家族で家読をしていただくためにリーフレット「家読のススメ　～家読で深まる家族の絆～」を作成しています。昨年度改定し、カットはすべて県北中学校の生徒が描いています。

今回のＣＳ委員会の話し合いの中でこのリーフレットが取り上げられました。指導助言の先生からは「これ以上のものは作れない。家読を始めるにあたって必要なものはすべて盛り込まれている。」とお褒めの言葉をいただきました。

このリーフレットは、昨年度、小・中学校を通して保護者のご家庭に配布していますので、ぜひ親子の家読に役立ててください。

なお、改めてご希望される方は、観月台文化センター内の国見町図書館でいただくことができます。

保育所・幼稚園・小学校・中学校の様子は
「国見町教育ポータル」で検索